議案第50号

北名古屋市下水道条例の一部改正について

北名古屋市下水道条例の一部を改正する条例を別紙のとおり定めるものとする。

令和6年6月4日提出

北名古屋市長 太田考則

提案理由

この案を提出するのは、アナログ規制の見直しにより排水設備工事責任技術者の常駐・専任規制を緩和するため及び下水道法施行令の一部を改正する政令の公布施行に伴い排水基準を変更するため、本条例の一部を改める必要があるからである。

北名古屋市下水道条例の一部を改正する条例

北名古屋市下水道条例（平成19年北名古屋市条例第27号）の一部を次のように改正する。

第7条第2項第2号中「専属する」を「選任する」に改め、「排水設備工事責任技術者」の次に「（以下「責任技術者」という。）」を、「氏名」の次に「並びに他の営業所の責任技術者を兼任している場合はその兼務状況」を加え、同条第3項第4号中「専属する」を「選任する」に、「排水設備工事責任技術者の」を「責任技術者に係る」に改める。

第8条第1項第1号中「排水設備工事責任技術者」を「責任技術者」に、「が1人以上専属している」を「を選任している」に改める。

第9条の見出しを「（責任技術者）」に改め、同条第1項中「排水設備工事責任技術者（以下「責任技術者」という。）」を「責任技術者」に、「専属させ」を「選任し」に改め、同項に次のただし書を加える。

ただし、同一の都道府県の区域内における他の営業所について兼任することを妨げない。

第23条第1項第10号中「大腸菌群」を「大腸菌数」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。ただし、第23条第1項第10号の改正規定は、令和7年4月1日から施行する。